



「花祭り」の行事をご存知ですか？これは灌仏会(かんぶつえ)と言うお釈迦様(釈迦：ゴータマ・シッタッタ)の生誕をお祝いする古くからの行事です。4月8日に行われますが、段々お祝いするのも廃れて来たような気がします。このお祭りは、地方によっては隆誕会(ごうたんえ)、仏生会(ぶっしょう)、浴仏会(よくぶつえ)、龍華会(りゅうげえ)、花会式(はなえしき)、花祭(はなまつり)と言うようですが、私の小さい頃は花祭りとしてお釈迦様の像の周りを花で飾りお寺の門前に安置。釈迦像に甘酒をかけた思い出があります。



仁厚会病院この人に聞く

直井 ひろみ (新看護部長)

東北太平洋沖地震災害で多くの人々を失い、被災者の皆さまへこころよりお見舞い申し上げます。私の知人も釜石で「命からがら逃げた」と話しておりました。暫く連絡がつかず、やっと3月27日に連絡が入りました。今は親類宅へ身を寄せておりますが、被災地は「ヘドロ」の臭気が漂い、とてもTVの報道では知ることができませんが、想像を絶する状況だそうです。今まで豊に暮らしていた生活から一瞬にして、環境が変わり、人生感が変わり、どれほどか辛い思いをしていることでしょう。想うと、心が痛み、涙がこぼれてしまいます。

そんな中4月1日より、ご縁で仁厚会病院の看護部長へ就任しました。神奈川県下で約10数年看護部長の経験をしておりますが、看護のこころは一つです。「優しいこころ・優しい眼差し・優しい手・優しくペーシング」です。私は、いつも「クオリティ・オブ・ハート」といっております。どんなに素晴らしいスキル(技術)を身につけていても、こころが籠もらなければ、看護の価値は生まれません。こころと技術が統合されて素晴らしい看護が提供できると考えております。ここ仁厚会病院の職員は温かい雰囲気をもちあわせています。この温かい雰囲気を大きな樹に、そして看護をイノベーションしていきましょう。一人でも多くの看護職が仁厚会病院を愛していただける環境作り、そして人材を人財に構築することに努力して参ります。地域の方々より仁厚会病院を愛していただき、ここで看護を受けたい。と言っていただけのようにする。患者さんがさらに増え、日本全国から来ていただけるようにしましょう。私の想いです。看護部が変われば病院が変わる。現実に行きましょう。職員の皆さま、地域の皆さま、さらなる発展に向けご指導、ご協力を宜しくお願い致します。

平成23年3月11日 14時46分 東北地方太平洋沖地震発生。この時、皆さんは何をされていましたが？そして、何をされましたか？

当院では、6階にある図書室では書物が棚から床に落ち散らばっていました。病棟等では、物が落下したり破損することはありませんでしたが、初回の揺れの直後、患者さんの安全の為に、即座に看護師が動きました。床頭台の上の荷物が落ちないように移動させ、点滴台が転倒したりしないよう、最小限の点滴とし、点滴台を固定。窓ガラスが破損し怪我をしない為に全ての病室のブラインドを閉めました。非常口からの脱出が出来るようにに寄り添うことをしました。地震発生時刻、病院は日常的な治療/検査がなされており、手術中が1件。内視鏡中が1件。7階理学療法室では、自力歩行困難な患者さん6~7名がリハビリ中でした。手術は、ほぼ終了に近い状態にあり、無事終了。エレベーターが使用できない事もあり担架搬送の準備もしましたが、エレベーターが復旧し無事病棟に戻られました。リハビリ中の患者さんは、事務職員を中心とし男性職員が即座に集合。車椅子ごと職員3~4名で担ぎ、病棟まで階段を使って搬送しました。職員の中には、帰宅難民で病院に宿泊したり、1時間以上、歩いたり自転車で通勤する職員もおりました。

関東や東海地方の大地震も予測されています。病院では、この経験を無駄にせず、災害時対策を再度見直す為の準備をしています。

ペットボトルのお水を、車に置きっぱなしにしないで！！というタイトルのメールをアメリカの友人から受けました。それは、ダイオキシンと乳癌に関する内容でした。内容をそのまま書いて見ます。

アメリカのコメディエンヌであるエレン・デジェネラスがTVの「エレン」というトーク番組で、ある日のゲストの、歌手シェリル・クロウから自身の乳がんの原因についての話があった。それは、高濃度のダイオキシンは、乳がんの原因の一つとされている。彼女のがん専門医は、「女性は、車に置きっぱなしにしたペットボトルのお水を飲んではいけません。車内の気温が高くなると、ペットボトル内の化学物質がダイオキシンを容器内の水に溶かすからです。ダイオキシンは、乳がん患者の細胞内で特に多く見つかる物質です。」

米国のウォルター・リード陸軍メディカルセンターでも、回覧している内容として

- ・ペットボトルを電子レンジで温めないこと。
- ・ペットボトルのドリンク類を冷凍しないこと。
- ・プラスチックのラップ類を電子レンジで使用しないこと。
- ・ダイオキシンは、がんの原因、特に乳がんの原因となる化学物質です。
- ・ダイオキシンは、人間の細胞をむしばむ要因となるのです。
- ・ペットボトルの水を冷凍しないでください。
- ・ダイオキシンが水にとけだす要因になるからです。

他に、米国キャッスル病院の健康プログラムのマネージャーがプラスチックの取り扱いの危険性について

特に、脂を含んだ料理が危険。料理の油と高温、プラスチックという要素がチンした時にダイオキシンを食事に加えてしまうからだという事です。レンジを使用する時には、プラスチックの代わりに耐熱のガラス容器や陶器を使ってくださいと言っています。



「まごころ通信」を担当して参りましたが、この4月より直井看護部長にバトンタッチしました。これまで、仁厚会病院の理念でもある、『地域に貢献する』を具現化すべく色々なことを実施してきました。「地域住民対象の健康相談」を1年間実施。相談窓口が有ると聞いたと、電話がかかってきたり、相談窓口時間前にお越しになり待って下さっていた方も居られました。1年が経過したところで、この「まごころ通信」を発刊し、「地域住民講座」を開催いたしました。職員に対しては、安全教育や管理者研修などを積極的に実施。接遇・コミュニケーションカアップの為に「カウンセリングコース」を開催しました。この3月で退職となりましたが、以降は、民生委員/児童委員として私の住居住民の為に貢献致します。そして、大学院で人間学をもう少し極めてみたいと思っています。仁厚会病院をご利用の皆様、職員の皆さま、どうぞ、病院を盛り立てて頂きたいと存じます。最後に、皆さまのご健康を祈願し、感謝をもって私の最後の通信と致します。 By 尾高 貴美子

